

くるにゃん通信



編集・発行

愛媛県介護支援専門員協会



第10回四国ブロック研究大会 in かがわに 登壇しました！

中矢英孝(平成4年生まれ)
愛媛県西条市(旧東予市)出身
ケアマネ歴：3年
3年前に今治市島嶼部へ移住



令和6年11月23日に開催された第10回四国ブロック研究大会 in かがわにパネリストとして登壇させていただきました。パネリストとしてお話を頂いたのが3カ月前で、発表までの期間は非常に濃い日々だったと記憶しています。

テーマは「地域共生社会と介護支援専門員～多様化・複雑化した社会における役割を考える～」でした。

近年、少子高齢社会や生活領域における支え合いの基盤が脆弱化し、社会は多様化や複雑化していることを背景に、新たな地域の繋がり等(地域共生社会の実現)が求められています。介護支援専門員の役割もますます大きくなり、それに応じて向き合う課題もより多様化・複雑化している現状の中で、この四国ブロック研究大会の講演・パネルディスカッションを通して、今後の地域共生社会に向けた方向性について皆で考え、四国等の介護支援専門員のさらなる資質向上と連携強化に貢献できることを期待し、上記のテーマとなったようです。

発表内容としては、私が住む今治市島嶼部の現状や課題に対する対応を話しました。今治市島嶼部の紹介ができ、自分自身の評価として良い報告ができたと感じています。発表以外にも基調講演や特別講演、他県の取組も聞きましたが非常に勉強になりました。様々な方が介護支援専門員の今後を考え活動していることを知り自身の励みにもなる大会でした。



参加できなかった会員さんのために、ショートカットで内容を紹介します！

第10回四国ブロック大会が高松シンボルタワー6Fで開催され、四国各地のケアマネジャーが「地域共生社会と介護支援専門員」をテーマに発表されました。愛媛県からは伯方社協の中矢さんが「島嶼部の介護支援専門員としての役割」と題して発表されました。他県の方々も生活困窮や精神疾患、家族支援などをテーマに発表され、その後にはパネルディスカッションが行われました。次回は愛媛県での開催が予定されており、より一層気を引き締めて準備を進めたいと思います。第11回大会で皆様のご参加お待ちしております。

印象に残ったこと

どの場面も新鮮で印象に残ったのですが、特に印象に残ったのはパネリスト同士での交流場面が心に残っています。四国4県のパネリスト同士ほぼ初対面だったとは思いますが、気さくに話しかけてくれたり、名物のお菓子もくれたり…(´ー´)ニヤリ昼食も一緒にとりながら意見交換をしたりと終始和やかな雰囲気でした♪とても緊張していましたが、パネリストの皆さまのおかげで楽しい大会となりました！本当にありがとうございました！



自分自身の課題

パネルディスカッションで会場からパネリストへの質問がありましたが、質問に対する良い答えが思いつかず答えることができませんでした(;▽;)勉強不足や即興力など自分に足りない部分が見つかったので、これから課題に向き合い業務等にも生かしていきたいと思います！



次回の大会について

次回は愛媛県で開催されます。テーマは「家族支援(仮)」、来年の同じ時期頃に開催する予定となっております！私も参加する予定になっていますので、皆様にお会いできることを楽しみにしています！

ご参加のほどよろしく願いいたします！！



発表を終えて

この場をお借りして、香川県介護支援専門員協議会の皆さま、運営スタッフの方々、発表までの期間ご指導いただいた矢川会長には厚く御礼申し上げます。

愛南町のケアマネ活動を紹介致します

愛ミング・ケアセンター居宅介護支援事業所 森下千賀子

愛南町は、人口約1万9,000人の小さな町ですが、海、川、山の緑あふれる自然がとても豊かな地域です。食べ物もおいしく、特産品には、愛南ゴールドのみかんはもちろん、カツオ、岩ガキ、寒ブリ、ヒオウギ貝など新鮮な魚介も楽しめます。食べ物以外では、憩いの温泉、ダイビング・シーウオーカー、また須ノ川公園のキャンプ場には毎年テントで賑わい、冬にはイルミネーションが楽しめるようになりました。地味に楽しみどころ満載です。

そんな地域でのケアマネ活動ですが、私たちの地域では各居宅のケアマネと、地域包括支援センターのケアマネが、定期的集まり、合同で事例検討、研修を開催し、計画案に関する意見交換などを行っています。時には余談も話しながらですが、今年度は、「ACP普及啓発について」「AIケアプランについての体験実習」「個別避難計画の作成」などが行われています。この避難計画については愛南町からの委託を受け聞き取り調査を行うなど、新たな取り組みがスタートしました。

一方、主任ケアマネも定期的集まり、みんなの意見を参考に、研修企画を練り、講師の依頼と研修開催、合同事例検討会の開催、あいなんネット通信の作成などの取り組みが行われています。このあいなんネット通信ではケアマネや医療従事者のニューフェイスや新事業所の紹介、気になる話題などを主任ケアマネが手分けして取材を行い、記事へ掲載します。

又その他には、支援マップや連携便利帳などの作成も定期的に見直し、いつでも必要に応じて活用ができるよう工夫を行っています。このように愛南町ではケアマネ同士が顔の見える関係作りに努め、みんなで手を取り合い、愛南町全域の高齢者を皆で熱く応援しています。



教えて！！施設ケアマネさん♪



今回は施設で働いているケアマネさんに
スポットを充ててお話を聞いてみたにゃ♪

Q: 自己紹介をお願いします♪

A: 味酒野ていれぎ荘で施設ケアマネ兼相談員として勤務している浅野 俊江です。性格は素直で単純。最近の癒しは美容パックと体をしっかり休めることです。

Q: 味酒野ていれぎ荘のアピールをお願いします。

A: 平成 26 年に開設した特別養護老人ホームで通所介護と居宅介護支援事業所を併設しています。特養は 60 床で 10 人 6 ユニットです。ノーリフティングケア導入や地域住民と協働で行う地域活動にも積極的に取り組んでいます。認知症の方や終末期の方の自己決定支援にも力を入れています。

Q: 福祉の仕事始めるきっかけは？

A: 元々はアパレル関係で働いていましたが、福祉ボランティア活動をきっかけに介護に興味を持ちました。また、ある住職の方のお話で「たとえ身体に障がいを持ったとしても、心が障がいされてはいけない」という言葉に感銘を受け、福祉を学びたいと思いこの世界に飛び込みました。その後、介護福祉士、介護支援専門員の資格を取得しケアマネ歴は約 15 年です。



Q: 施設ケアマネのお仕事内容を教えてください。

A: 私は施設ケアマネと相談員を兼務しているため、施設の入退所調整、担当者のアセスメント、ケアプラン作成、担当者会議開催、入所事前調査、その他関係機関等と連携を図っています。日頃より利用者様、家族様としっかりと関りながら、生活状況の確認やその都度の意向、要望を聞き取っています。担当件数は 20 人です。

Q: 施設ケアマネとしてのやりがいや醍醐味、大変なことは何ですか？

A: 元々居宅ケアマネの経験もあり、在宅の楽しさも知っていましたが、施設ケアマネは一人一人とじっくりと関わることが醍醐味です。当施設では看取りも行っているため、利用者様の自宅であるこの場所で、人生の最期を共に過ごしお見送りまで担えることはやりがいを感じられる瞬間です。大変さは、本人、家族、施設としての意向のすり合わせや、施設の窓口として様々な関係機関との連携や調整は多少の大変さがあります。

Q: ケアマネとして自己研鑽はされていますか？

A: ケアマネとしての最新情報収集のため、愛媛県介護支援専門員協会に入会しています。研修にも積極的に参加し、ケアマネ研修で演者として発表も経験しました。最近では適切なケアマネジメント手法の研修も受講させていただき、常に学ぶ姿勢を大切にしています。

Q: 施設ケアマネとしての課題はありますか？

A: 居宅ケアマネさんに比べると、ネットワークは少ないと思います。その分孤立しがちです。施設と居宅のケアマネさんの交流や合同研修会が徐々に増えてきている印象ですが、そのような場がもっと増えればいいなと思います。

浅野さん貴重なお話ありがとうございました。



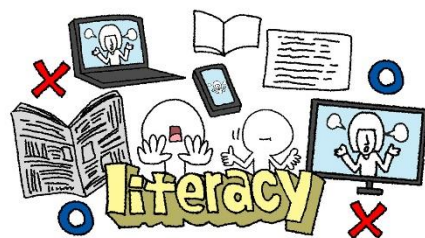
味酒野ていれぎ荘では施設見学随時対応中です。
お気軽にお問合せ下さい。



住所：松山市衣山5丁目719-1 TEL：089-989-5571



ちょっとひと息



情報リテラシーという言葉を知っていましたか。

情報リテラシーとは情報を適切に収集、理解し、それらを有効に活用する能力のことです。私達は毎日膨大な情報に囲まれて生活するようになりました。その情報が信頼できるものか見極めたり、鵜呑みにして偏った解釈をしないように判断する力が必要になってきました。

IT化が進み、パソコンやタブレットなどの端末を操作するのが当たり前になってきましたが、やはり若い人ほど上手に使いこなしています。利用者の中にもスマホやタブレットを使いこなしておられる人が少しずつ増えています。

現代において、情報リテラシーは健康維持や介護予防にも重要な役割を果たします。特に高齢者や家族にとって、介護予防に関する正しい知識を得ることは健康的な生活を送るうえで欠かせません。例えば「このサプリメントを飲めば認知症予防に効果的」といった広告を見た際に、それが本当に科学的根拠に基づいた情報なのかを判断する力が求められます。情報を見極める力を養うためにも発信元を確認したりなど、介護に関わる人々が情報を精査する習慣を身につけることで、より良い生活の質を維持し、健康寿命を延ばすことができるのではないでしょうか。

掲示板

くるにゃん通信に投稿を希望される方は県協会のメールでご相談ください。
なお、掲載の是非については県協会でご審査し、可否を決定させていただきますのでご理解ください。

今年度の県協会主催の研修をご案内します。

※詳細は愛媛県介護支援専門員協会のHPでご確認ください

* 第5回事例研究発表会(令和6年度全体研修会)

令和7年3月8日(土)13:30~16:00 えひめ共済会館

今年度もわずかとなりました。研修受講が必要な方はご注意ください。

* 令和6年度ステップアップ研修

精神疾患を悪化させないケアマネジメント

令和7年3月29日(土)13:30~16:00 愛媛県歴史文化博物館

日本ケアマネジメント学会認定ケアマネジャーの方にお知らせです。

※学会事務局から案内メールが入りますので、ぜひ、ご参加ください。

* 四国認定ケアマネジャーの会開催のご案内

令和7年3月8日(土)19:00~20:00 オンライン(zoom)開催

テーマ「組織の中での人材育成について」

～組織だけに留まらず地域の介護支援専門員のロールモデルを目指して～

講師 日本ケアマネジメント学会 副理事長 白木 裕子先生

愛媛県版適切なケアマネジメント手法項目一覧 ご紹介

※愛媛県社会福祉協議会ホームページからお申し込みください。

* 令和6年度から法廷研修に導入されました適切なケアマネジメント手法ですが、概要版の文字が小さく見づらいという声が多くありました。そこで、愛媛県社会福祉協議会で目に優しい文字サイズの項目一覧が発行されました。ぜひ、ご活用ください。

発行元

一般社団法人
愛媛県介護支援専門員協会
〒791-0244
愛媛県松山市水泥町90-1
愛媛県介護支援専門員協会事務局
Mail
ecma20150418@gmail.com

編集後記

今回は四国ブロック大会・愛南町・施設ケアマネの記事を掲載させていただきました。その中でも愛南町の記事で、漁港の食堂で食べた「びやびやかつお」を思い出しました(*´艸`)

4-6月頃に獲れる魚だそうで、食堂で食べられるかは運次第…。運良く食べれたときの感動と味は今でも覚えています。

コロナも少し落ち着いたかと思いきや、次はインフルエンザ…。なかなか落ち着かない状況ですが、お身体に気をつけながら、ぜひ愛南町へ行って「びやびやかつお」に出会ってください！

もう一度食べに行きたいなあ…そんな日々を送っています。(中矢)